

平成31年1月定例教育委員会会議

- 開催日時 平成31年1月23日（水）午前10時33分～午後0時5分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室303
- 出席委員 教育長 川村 等
教育長職務代理者 岡見 文彦
委 員 信樂 哲
委 員 原 キミ
委 員 大槻 啓子
委 員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 浅野 正
教育委員会事務局次長 大須賀 規幸
教育委員会事務局次長兼国体推進担当参事 佐藤 由起子
教育委員会事務局参事兼教育総務課長 大沢 英樹
鹿嶋っ子育成課長 鈴木 欽章
教育指導担当参事兼教育指導課長 山口 久弥
教育センター所長 小室 富保
社会教育課長 浅野 敏勝
スポーツ推進課長 飯塚 俊行
国体推進室長 山口 和範
中央図書館長 菊本 義人
中央公民館長 東峰 由美子
学校給食センター所長 津島 応紀
教育総務課課長補佐 久保 美由紀
教育総務課主事 石毛 千遥

○ 議 事

1 議 案

- 非公開 議案第 1号 職員の人事（普通退職）について (教育総務課)
公 開 議案第 2号 鹿嶋市奨学生選考審査会委員の人事について (教育総務課)

2 報告議案

- 公 開 報告第 1号 鹿嶋市学校防災推進委員会委員の人事について (鹿嶋っ子育成課)
公 開 報告第 2号 鹿嶋市小中学校通学区域再編成検討委員会委員の人事について (鹿嶋っ子育成課)

3 協議・報告事項

- 公 開 ・鹿嶋市小中学校通学区域見直し（最終案）について (鹿嶋っ子育成課)
公 開 ・市立幼稚園・保育園の再編方針（案）について (鹿嶋っ子育成課)

4 その他

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の指名

信樂 哲委員が指名された。

3 議 事

【非公開】

議案第 1号 職員の人事（普通退職）について

※ 議案第1号については、原案どおり可決された。

【公 開】

議案第 2号 鹿嶋市奨学生選考審査会委員の人事について
(教育総務課) 委員の退職及び人事異動に伴い、委員4名を解き、その後任として委員4名を新たに委嘱または任命するもの。

【主な質疑・意見等】

特になし

※ 議案第2号については、原案どおり可決された。

報告第 1号
(鹿嶋っ子育成課) 鹿嶋市学校防災推進委員会委員の人事について
委員の退職及び人事異動に伴い、委員8名を解き、その後任として委員8名を新たに委嘱または任命するもの。

【主な質疑・意見等】

(委員) 会議はどのような頻度で開催されるのか。
(鹿嶋っ子育成課) 年に1回開催する。今年度は発令日である1月21日に行う。

※ 報告第1号については、原案どおり承認された。

報告第 2号
(鹿嶋っ子育成課) 鹿嶋市小中学校通学区域再編成検討委員会委員の人事について
委員の退職に伴い、委員1名を解き、その後任として委員1名を新たに任命するもの。

【主な質疑・意見等】

特になし

※ 報告第2号については、原案どおり承認された。

・鹿嶋市小中学校通学区域見直し（最終案）について
(鹿嶋っ子育成課) 鹿嶋市小中学校通学区域再編成検討委員会で協議・検討された見直し（最終案）について報告するもの。

【主な質疑・意見等】

(委員) 住民説明会の出席人数について、関係するエリアに居住する者にとっては大きな問題のため、強い興味、関心のもと、当然のごとくたくさんの方が出席されたのだと思っていたが、少ないようで意外であった。また、説明会に出席しなかった方で、電話等を通して意見を述べられた方はいたか。

(鹿嶋っ子育成課) まず、住民説明会の出席人数については、これまで、今回の説明会に出席された方以上に、見直してもらいたいという意見が多数あった。その多数の方々の意見を参考にして、見直し案を作成した。そして、住民説明会の周知をする際に区長回覧や小中学校の全児童生徒の保護者へ、今回の見直し案をすべて載せたチラシを事前に配布し、おおかたの意見を取り入れた見直し案を作成したということが分かるようにしたことから、説明会の出席者が少なかったのではないかと考えてい

る。その後、市長への手紙や電話等でいくつか問い合わせがあったが、内容的には今回の説明会で出た少数の意見と同様のものが数件寄せられた。

(委員) 例えば、今回見直しとなった、林地区においては、中野西小学校区から中野東小学校区へ変更となったが、地区としては現在も中野西小学校区との付き合いを続けている。今回の見直しでは、たまたまある期間によそから転居してきた方の意見が先行するような状態になり、いつのまにか中野東小学校区へ変更するという意見が多数となったのではないかということや、アジュール周辺も現行では鹿島小学校と鹿野中学校が通学区となっているが、どう考えても距離的に波野小学校と鹿島中学校が近く、道路一本渡れば鹿島中学校ということ、あえて鹿野中学校までいかななくてもいいのではないかと思われる方もいると思う。今回理解して下さった方はいいが、また新たに転居されてきた方々に、その都度、周知するというのも非常に難しいと感じる。これはあくまでも一つのベースということで考えていただき、丁寧な説明をしたうえで、弾力的な運用をしていただきたい。

(委員) 通学区によっては、特に中学校進学の際に、保護者や子供が不安定になり、教育委員会も相談等の対応にご苦労されてきたと思う。今後実際に変更すると、様々な意見が出てくると思うので、その際には丁寧に対応していただけたらありがたい。また、前回の資料かもしれないが、不動産屋さんにも学区の見直しを周知してほしいという意見があったと記憶している。転居される方は、住まいを探す際に、不動産屋さんの学区の案内で、転居されてくることもあるようなので、後で齟齬が生じてしまうと、学校の対応が難しくなってしまうと感じた。3ページの今後のスケジュールに一般の方へ周知のスケジュールがあるが、実際学区が見直しとなった当該校への説明会はどのようにされる予定か。

(鹿嶋っ子育成課) 不動産屋さんへの説明については、住民説明会に不動産屋さんが来られて、ぜひ周知してほしいというご意見があった。都市計画課で不動産業者を把握しているので、そちらにも市民公表と同時に周知していきたいと考えている。また学校関係への周知については、今後、議会等の周知に合わせ、年度初めになると思うが、改めて校長会で周知していきたいと考えている。その後、市民への公表は6月を予定している。

(委員) アジュール周辺が厨地区ということで、現行の鹿島小と鹿野中よりも、波野小と鹿島中の方が明らかに近いと感じる。子供の足で、時間的にどの程度違うものなのか。極端に違う場合は、配慮する必要があると思う。そちらにお住まいの方から要望等あったか。

(鹿嶋っ子育成課) 距離については、実際には波野小よりは三笠小の方が近い。また、地

番も宮中のため、学区の指定としては、波野小よりは鹿島小か三笠小になる。現在波野小に通われているお子さんは、祖父母が波野小学校区にお住いのため、波野小に通っている。坂道等を考慮すると三笠小の方が通いやすいと思うが、保護者の方の意思で、波野小学校に通っている。ただ、こういったケースがよその小学校区の境にもあるため、厨区だけを認めてしまうということは避けたいと考えている。そのため、お示した指定学校変更に係る許可要件にどうしたら当てはまるかということについて、今までと同じように、全ての市民の方の相談に乗っていきたいと考えている。それは、今後事務局の中で共通した認識として持っていこうと確認したところ。中学校への進学に際しては、明らかに鹿島中が目の前のため、小学校から波野小に通われている方は、今回項目を追加した、同じ小学校の児童は同じ中学校に行くといった部分に当てはめて整理したいと考えている。

(委員)

浄水場の周辺が宅地開発で子ども達が増えているが、道路が狭く、通学する際に危険な箇所がある。引き続き学区の部分と併せて、道路の整備促進をお願いしたい。

・市立幼稚園・保育園の再編方針（案）について

(鹿嶋っ子育成課)

鹿嶋市の幼児教育・保育施設の再編について現段階における今後の方向性を報告するもの。

【主な質疑・意見等】

(委員)

市内にある民間の保育所に対してどれくらい関与しているのか。また今後どのように連携をしていくのか。

(鹿嶋っ子育成課)

保育所については、これまでもこども福祉課で市全体の定員を管理しており、民間の保育所を含めて、待機児童の数を把握している。というのも現在、民間の保育所の設置を認可する権限が、権限委譲されており、こども福祉課で行っている。そのため、誘致に関しても市が関わっている。市としても大企業に託児所や保育所の設置をお願いしているが、実現していないのが現状である。また来年度に組織の改編があり、こども福祉課の保育グループが教育委員会に一括され、現在の鹿嶋っ子育成課の幼稚園担当と合わせて幼児教育課となり、保育所と幼稚園を管理し、小学校への接続をスムーズにするものである。そのため、民間の動きを含めて、今まで以上に0から5歳児に対して密接に関わることができ、また状況が瞬時に分かるようになる。

(委員)

民間の保育所が市内にいくつあるか把握しているのは、現在はこども福祉課になるのか。また民間の保育所に助成金等はあるのか。

(鹿嶋っ子育成課)

現在はこども福祉課になる。助成金については、国と県の補助金があり、国の補助金に県の補助金を加えられ、茨城県から助成される。内

訳は国が二分の一，県が四分の一，市が四分の一となる。また全体の公金と民間事業者が支出する割合もあるが，全ての事業者に対して，人件費を含めた運営費，それから施設整備費にも補助金がある。そのため，待機児童対策という部分での補助は充実している。

(委 員)

小規模保育園について，0歳から2歳までの預かりになるということで，その後の3歳児以降，他の園に入園するために，民間の小規模保育園と3歳児以降の園児を預かりしている民間の保育園が連携していると聞いたことがある。これは公立の認定こども園等も同じで，連携しているのか。

(鹿嶋っ子育成課)

小規模保育園，民間と公立の保育園，認定こども園についても，すべてこども福祉課で入園の許可を出しているのので，民間は民間でつながりがあることもあると思うが，基本は，毎年入園の希望を出していただいて，入園していただく。または，兄弟がいるところに入園していただく等の優先順位はあるが，民間を全て含めた中で入園の調整を市で行っている。そのため，民間の小規模から公立に来られる方，また幼稚園に入園される方等，様々な方がいらっしゃる。いずれにしても，市で待機児童がないように調整している。今後はそれを教育委員会で行う。

4 その他

- ・平成31年4月1日鹿嶋市行政組織の見直しについて
- ・平成31年第1回鹿嶋市議会定例会に提出議案について
- ・鹿嶋市教育委員会関係日程について

5 閉 会

教育長から閉会が宣言された。